YNU 横浜国立大学
YOKOHAMA National University
Initiative for Global Arts & Sciences グローバルな学術の共創

# YNUビジネスクリエイション研究拠点
# ＜中間報告会＞

１１月２日（月）

横浜国立大学　国際社会科学研究院
准教授　軸屋 泰隆

# 研究拠点の目的

スタートアップエコシステムの発展原理の解明を行うと共に、ディープテック型スタートアップのビジネス創出メカニズム及び、それらの社会実装に関わる研究を行う。



＜主な研究接続領域＞

社会科学系
・産業組織論/経営資源論/地域開発論/
企業家精神/イノベーション経営/技術経営

理工系
・量子/半導体/ロボティクス/素材/創薬/情報/
セキュリティー/生命科学/造船

人文系
・歴史/倫理/教育/文学

都市科学系
・地域間関係/地域社会

# 所属メンバー

| 氏　名 | 所属・職名 | 現在の専門 | 学位 | 役割分担等 |
|---|---|---|---|---|
| 軸屋泰隆 | 国際社会科研究院准教授 | アントレプレナーシップ | 博士 | 研究代表者 |
| 真鍋誠司 | 国際社会科研究院教授 | 技術経営 | 博士 | 研究分担者 |
| 大野秀敏 | 総合学術高等研究院特任准教授 | 政策・メディア | 修士 | 研究分担者 |
| 本橋永至 | 国際社会科研究院教授 | データサイエンス | 博士 | 研究分担者 |
| 大沼雅也 | 国際社会科研究院教授 | イノベーション | 博士 | 研究分担者 |

# YNUが主導する横浜発スタートアップエコシステムの発展への取組

## 「技術開発」

**＜アカデミック＆地域セクター＞**

・横浜国立大学（全学部/大学院/YBS）
・横浜市立大学
・神奈川大学
・湘南アイパーク
などの地域や他大学との連携強化

**YNU発スタートアップビジネス創出**

YNU発DeepTechに注力

## 「技術振興」

**＜ファイナンスセクター＞**

・地方銀行
・政策投資銀行
・ベンチャーキャピタル
・コーポレートベンチャーキャピタル
などの金融セクターとの連携強化

**YNU発スタートアップへのファンディング**

YNUへのファイナンススキームの構築

シードステージ → アーリーステージ

YNU
YOKOHAMA National University

レイター/EXIT ← ミドルステージ

## 「技術実装」

**＜ビジネスセクター＞**

・製造業
・情報通信産業
・エネルギー産業
・半導体産業
などの地域産業との連携強化

**YNU発スタートアップの社会実装**

YNU発ユニコーン企業数をKPIとして設定

## 「技術発信」

**＜行政＆メディアセクター＞**

・横浜市/神奈川県
・新聞社/出版社
・ラジオ/テレビ局
などの行政・メディアとの連携強化

**YNU発スタートアップの情報発信**

情報発信体制の抜本的強化

**スタートアップエコシステムの発展原理の解明を行うと共に、**
**グルーバルな視野を持って社会実装の方法を探索する。**

# YNUが主導する横浜発スタートアップエコシステムの発展への取組

**学生および研究者向け起業支援活動への還元（２０２７年度：R9以降）**
・「YNUスタートアップカフェ」の設置（スタートアップ活動拠点・法人登記など）
・大学発スタートアップのためのインキュベーション施設の開設検討
・国内外大規模スタートアップピッチコンテストの誘致
・校友会・富丘会を中心としたアルムナイのマッチングプラットフォーム
・大学のスタートアップファンドの設置（VCへの二人組合方式によるLP出資等も検討）
・大企業とのビジネスクリエーションに関わる共同研究並びに産学連携の抜本的強化
・シリコンバレー等の学術機関や行政セクター、VC等の海外エコシステムとの連携推進

**アントレ教育への還元（２０２６年度：R8から）**
＜学部＞
・全学学部向けアントレ教育強化（理工学部等、経営学部以外の学部への授業周知強化）
＜大学院/社会人＞
・YBS（実務家向け）および既存修士課程（研究者向け）でのアントレ関連授業の設置
・理工系大学院生向けのアントレ関連授業の設置（実践的なビジネスクリエイション講義に特化）
・湘南アイパーク入居スタートアップ経営者向けのアントレ関連の講座の設置

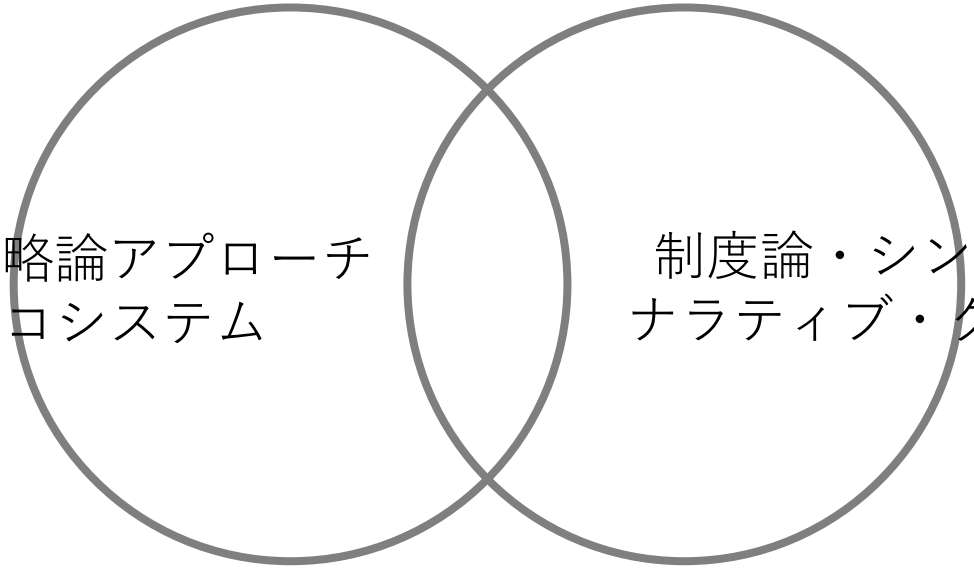
**アントレ研究拠点：＜ビジネスクリエイション研究拠点設置＞（２０２５年度：R7から）**
・スタートアップエコシステムの発展原理の研究
・ディープテック型スタートアップのビジネス創出メカニズムの解明（アントレ＆イントレ）
・YNUのアントレ活動の広報力およびメディア連携の抜本的強化

**既存の取組み強化（これまで）**
・全学学部向け教育（経営者から学ぶリーダーシップ/ベンチャーから学ぶマネジメント）強化
・横浜ビジネスプランコンテスト（YBC実行委員会＆経営学部＆富丘会共催）強化

時間軸　２０２５年度(R7)　２０２６年度(R8)　２０２７年度(R9)　２０２８年度(R10)　２０２９年度(R11)

# 主な研究関心領域について

産業組織論・経営資源論、戦略論アプローチ
大学発スタートアップエコシステム



制度論・シンボリック相互作用論アプローチ
ナラティブ・クラフト・シンボル・歴史・人文

# 取り組みについての報告①　査読付き論文（２０２５年６月ー２０２６年９月）：９件

| | | |
|---|---|---|
| The Recipe for IPO Success: A Configurational Approach to Entrepreneurial Storytelling | 2026年8月 | The 86th Annual Meeting of the Academy of Management<br>https://doi.org/10.5465/AMPROC.2026.116bp |
| Entrepreneurial Survival Strategies in the VUCA Era: Exploring Resource Acquisition through Storytelling and Warm-Glow Theory | 2026年7月 | AAOS Transactions, 14(4), 16-30<br>https://doi.org/10.11207/aaostrans.2026-003 |
| 経営学はサステナビリティとウェルビーイングをいかに接続してきたか―システマティックレビューによる研究の構造化と未来への提言― | 2026年4月 | 赤門マネジメント・レビュー, 25(2), 29-52<br>https://doi.org/10.14955/amr.0250930a |
| Dynamic Signaling Theory in Entrepreneurial Pitch: Interplay of Valence-Arousal & Investor Reaction | 2025年7月 | The 85th Annual Meeting of the Academy of Management<br>https://doi.org/10.5465/AMPROC.2025.24585abstract |
| ストーリーテリングとアイデンティティ―日本のIPO市場データによる実証分析― | 2025年6月 | 組織科学, 58(4), 77-91<br>https://doi.org/10.11207/soshikikagaku.20240601-5 |
| Evaluative Mechanisms in Entrepreneurial Storytelling: A Comparative Study of Social Evaluation and Funding Outcomes Across Japan and Europe | 2026年7月 | The 42nd EGOS Colloquium (University of Bergamo) |
| Beyond Algorithmic Signals: A Configurational Approach to Responsible IPO Investment Decisions | 2026年5月 | The 27th Asia Pacific Management Conference (横浜国立大学) |
| Entrepreneurial Storytelling and Investor Evaluation: A Qualitative Process Study of Prosocial and Economic Interpretation | 2026年5月 | The 27th Asia Pacific Management Conference (横浜国立大学) |
| The Power of Narrative Configurations: Disruptive Storytelling and Investor Commitment in IPOs | 2026年2月 | ACERE 2026 (Australasian Consortium for Entrepreneurship Research Excellence, Sydney) |

# 取り組みについての報告②　学会報告（２０２５年６月ー２０２６年９月）：９件

| | | |
|---|---|---|
| The Recipe for IPO Success: A Configurational Approach to Entrepreneurial Storytelling | 2026年8月 | The 86th Annual Meeting of the Academy of Management |
| How Does Decision-Making Shape Firm Performance? An Integrative Review of the Guiding, Enabling, and Constraining Roles of Entrepreneurial Orientation | 2026年7月 | Entrepreneurship and Innovation Research Seminar: Narratives, Decisions, and Data |
| Entrepreneurial Storytelling and Investor Evaluation: A Qualitative Process Study of Prosocial and Economic Interpretation | 2026年7月 | Entrepreneurship and Innovation Research Seminar: Narratives, Decisions, and Data |
| Evaluative Mechanisms in Entrepreneurial Storytelling: A Comparative Study of Social Evaluation and Funding Outcomes Across Japan and Europe | 2026年7月 | The 42nd EGOS Colloquium (University of Bergamo) |
| Beyond Algorithmic Signals: A Configurational Approach to Responsible IPO Investment Decisions | 2026年5月 | The 27th Asia Pacific Management Conference（横浜国立大学） |
| Entrepreneurial Storytelling and Investor Evaluation: A Qualitative Process Study of Prosocial and Economic Interpretation | 2026年5月 | The 27th Asia Pacific Management Conference（横浜国立大学） |
| The Power of Narrative Configurations: Disruptive Storytelling and Investor Commitment in IPOs | 2026年2月 | ACERE 2026 (Australasian Consortium for Entrepreneurship Research Excellence) |
| Entrepreneurial Survival Strategies in the VUCA Era: Exploring Resource Acquisition through Storytelling and Warm-Glow Theory | 2025年9月 | The 63rd AAOS Annual Conference |
| Dynamic Signaling Theory in Entrepreneurial Pitch: Interplay of Valence-Arousal & Investor Reaction | 2025年7月 | The 85th Annual Meeting of the Academy of Management (Copenhagen) |

# 取り組みについての報告③　招待講演（２０２５年６月ー２０２６年９月）：４件

| | | |
|---|---|---|
| スタートアップエコシステムは「物語」でできている―ストーリーとシンボルが生む成長のメカニズム― | 2026年3月 | ART FAIR TOKYO × TiB クリエイティブトークイベント |
| Shaping the Future of Startup Ecosystems: A Sociological Approach Focusing on Stories and Symbols | 2026年1月 | 【横浜国立大学×相鉄×東急】横浜駅西口の課題と解決策を学生の視点で分析する |
| The Social Role of Startup Ecosystems and a Sociological Approach to Their Development | 2026年1月 | 社会科学創造的探究（早稲田大学社会科学部） |
| 横浜スタートアップエコシステムの未来 | 2025年12月 | 富丘会（横浜国立大学社会科学系同窓会）三田LTセミナー |
| 日本において、ディープテック型のユニコーン企業の数が諸外国と比較して圧倒的に少ない理由 | 2025年10月 | 全国キャラバン 3Questions 関東地区編 |

# 取り組みについての報告④　学会賞受賞（２０２５年６月ー２０２６年９月）：２件

| | | | |
|---|---|---|---|
| The Recipe for IPO Success: A Configurational Approach to Entrepreneurial Storytelling | 2026年8月 | The 86th Annual Meeting of the Academy of Management<br>https://doi.org/10.5465/AMPROC.2026.116bp | **【AOM Entrepreneurship Division 最優秀論文賞を受賞】**<br>【要旨】IPOを目指す企業の語りを対象に、起業家のストーリーテリングを構成する複数の要素が、単独ではなくどのような組合せ（コンフィギュレーション）として現れたときにIPOの成果に結びつくのかを検討した。単一の要素の効果を問う従来の分析枠組みに対し、要素間の組合せに着目する配置論的アプローチを採ることで、成功に至る複数の経路が併存しうることを示した。 |
| ストーリーテリングとアイデンティティ―日本のIPO市場データによる実証分析― | 2025年6月 | 組織科学, 58(4), 77-91<br>https://doi.org/10.11207/soshikikagaku.20240601-5 | **【企業家研究フォーラム賞（論文の部）受賞】**<br>日本のIPO市場データを用いて、起業家の語りが伝達するアイデンティティが資金調達成果に及ぼす影響を実証的に分析した。 |

# 取り組みについての報告⑤　その他

・産学官連携推進部門内にスタートアップ推進支援WG発足

・横浜独立系VC：アーカスTNPキャピタル、ライフタイムベンチャーズとのMOU締結

・産学官連携推進部門と連携し、Deep Currentスタート

・GTIE「神奈川エリア幹事校」就任







DEEP CURRENT
FROM DEPTH TO IMPACT.
深さを、インパクトへ。

Greater Tokyo Innovation Ecosystem

# 【プレスリリース】横浜国立大学と ARKAS TNP Capital株式会社、「スタートアップ支援活動における連携に関する基本協定書」を締結



# 【プレスリリース】横浜国立大学とライフタイムベンチャーズ合同会社、「スタートアップ支援活動における連携に関する基本協定書」を締結

『Greater Tokyo Innovation Ecosystem（GTIE：ジータイ）』は
『世界を変える大学発スタートアップを育てる』プラットフォーム。




**GTIE**
**（ジータイ）**

GTIEは、首都圏を中心にした大学、VC、CVC、アクセラレーター、民間企業などが結集し、東京圏におけるスタートアップ・エコシステムの形成を目指している。科学技術振興機構（JST）が主管。

東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO
WASEDA University 早稲田大学
Institute of SCIENCE TOKYO
筑波大学 University of Tsukuba
千葉大学 CHIBA UNIVERSITY
TUAT 国立大学法人 東京農工大学 Tokyo University of Agriculture and Technology
お茶の水女子大学 Ochanomizu University

**神奈川エリア幹事校就任(2026/4-)**

公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学 Kanagawa University of Human Services
YNU 横浜国立大学
横浜市立大学 YOKOHAMA CITY UNIVERSITY
慶應義塾大学
TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY 東京都立大学
芝浦工業大學 SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY Established 1927
東京理科大学 TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE
茨城大学 Ibaraki University
UEC 国立大学法人 電気通信大学 The University of Electro-Communications
東海大学
理化学研究所 RIKEN
産総研
TDU 東京電機大学
工学院大学 KOGAKUIN UNIVERSITY
上智大学 SOPHIA UNIVERSITY
東京薬科大学 Tokyo University of Pharmacy and Life Sciences
国立大学法人 東京海洋大学 Tokyo University of Marine Science and Technology

# ２０２６年度：YNUビジネスクリエイション研究拠点＆スタートアップWGの取り組み

**2026年**

6月　7月　8月　9月　10月　11月　12月

**2027年**

1月　2月　3月

**研究者のスタートアップに対する意識調査設計**

**研究者のスタートアップに対する意識調査実施**

DEEP CURRENT

FROM DEPTH TO IMPACT.

深さを、インパクトへ。

**学内イベント実施**
**YNU Media Hall**
**(10/23)**




**ピッチイベント実施**
**Vlag Yokohama**
**(12/21)**




**海外研修実施：２月-3月**
**シンガポールへ研修**

Greater Tokyo Innovation Ecosystem

**GTIE神奈川エリア**
**事業計画作成演習**
**Tech Hub Yokohama**
**(11/23)**

**GTIE神奈川エリア**
**ピッチイベント実施**
**Tech Hub Yokohama**
**(12/20)**

**海外研修実施：　２月-3月**
**米国シリコンバレーへ**
**（UCバークレーとの**
**ワークセッション等）**

# 将来構想（研究成果の社会接続）

スタートアップやエコシステムの発展に関わる研究だけでなく、本学の学部生および大学院生に向けたアントレプレナーシップに関わる教育プログラムの整備を行なっていく。

また、本学の学生および研究者の起業活動を支援し、さらには起業後の事業成長を支援する全学的な施策を実践する体制について中長期的な視点で企画検討を行う。

以上の取り組みによって横浜・神奈川地域のスタートアップエコシステムのハブ機能を担える土台を作ることを本研究の主たる目的とする。